

# 待降節 2022年



親愛なる姉妹の皆さま

私たちは再び、祈りと慈愛の時であると同時に、喜びと希望の時である待降節の幕開けをしました。この季節は、警戒と歓迎の喜びの態度で、主の到来を迎える準備をします。生活を見直す、特別な期間です。それは、神が私たちに与えてくれる機会であり、それに情熱を注ぎこめて生きることなのです。

この時、主はすでにおいでになり、やがて来られる、そして、過去を思い出すようにと私たちを招き、現在に生きるようにと促し、未来に備えるようにとおっしゃっています。

イエスはすでに来られ、その来臨は人類の歴史を変えました。神が人となったという彼の存在は、神の愛が、それを生きようとするすべての人にとって完全な現実となることを私たちに告げているのです。私たちはただ、心を開き、愛する準備をし、神のいつくしみに導かれ、よりいっそう公正で平和な世界を築こうとするのみです。

待降節の偉大な人物の一人は洗礼者ヨハネであり、この数日間、福音書はこの先駆者について語ります。主は、私たちを活動的で要請の多い待降節に招きます。クリスマスに神が来られることを祝うのは、単なる情緒を表現するポエムの問題ではありません。待降節とクリスマスの恵みは、神が私たちに伝えようとしている人生に対して、完璧な可能性に開かれることを要求しているのです。それは、道を整え、道を切り開き、埋め、まっすぐにし、持っているものを人に分かち合い、苦行をし、即ち、心を変えるということです。

この時期によく繰り返される次の二つの言葉、「警戒」と「回心」について考えてみてください。

見張るということは、常に主の臨在に目覚めていることであり、主が迎えに来られたときに、それを認識することができるようにすることです。彼は平和の使者として、私たちに神の道を示すために来られたのです。気を配るということは、自由な心を持ち、奉仕の方向に目を向けることでもあります。つまり、隣人に気を配り、相手に助けを求められる前に、その必要性に気づけるということです。

「回心」という言葉は私に何を語りかけているのでしょうか。私の人生のどこで、主は私に変わるよう求めておられるのでしょうか。私にまだまだ足りないもの、あ

るいはさらに深めるべきイエス様への態度は何ですか。私は「より良く愛し」、「さらに良く祈り」、「もっと仕え」、「いっそう自分を捧げる」という取り組みに努めているのでしょうか。

回心とは、自分の弱さ、罪を心の中で正直に認めることであり、生活を変え、毎日一歩ずつ前進することであり、利己主義、罪、怠惰、不正から私たちを解放するために来られる主の道を開くことなのです。それは、神の国とその救いが近いことを心の中で体験するときです。神の愛だけが、私たちを癒し、神の命で満たしてくれるのです。

イザヤは、待降節のもう一人の登場人物ですが、「主とともにあれば恐れることはない」と告げています。この預言者の言葉は、さまざまな苦しみや貧困が現実となっているこの世界において、神が私たちの助け手であることを思い出させ、私たちに希望を与えてくれるのです。

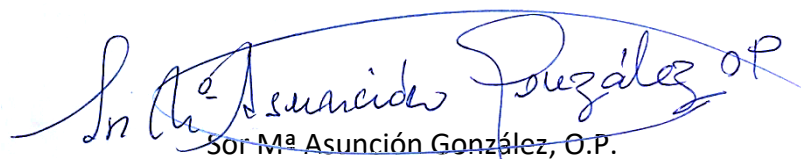
私たちは皆、不公平、戦争、自然災害、飢餓、悲惨... 荒野のような難しい状況を生きている場所がたくさんあることをよく知っています。しかし、私たち皆が自分の中に神を認めることを学び、兄弟として、少なくとも人間としてふるまうならば、これらすべてはよくなるはずなのです。ナザレのイエスは、私たちが歴史のただ中に神を見出すのを助けるためにこの世に来られたのです。

この時期の聖母マリアの姿も浮き彫りになっています。これは、マリアが神の救いの計画を全面的かつ速やかに受け入れた、信仰と謙遜の姿勢を強調するものです。マリアは、来るべき主を待ち望む喜びの模範となる方です。

マリアと一緒に、私たちも心を開いて、すでに来られ、また喜びを与えるために再び来たいと願っておられる方のために場所を確保することができますように。マリアが歴史の最初の主の降臨の時に持っていた同じ内なる性質と愛を私たちも携えて主を迎えることができますように。

皆さんが幸せで聖なる待降節を過ごし、主の到来を謙虚に喜びをもって迎えられるよう、心からお祈りしています。

姉妹的抱擁と祈りを添えて、



Sor M<sup>a</sup> Asunción González, O.P.

Priora General